

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公表番号】特表 2006-528706 (P2006-528706A)

【公表日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報 2006-050

【出願番号】特願 2006-520709 (P2006-520709)

【国際特許分類】

C 0 9 C 3/06 (2006.01)

C 0 9 C 1/36 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 1 G 23/047 (2006.01)

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

A 6 1 K 8/35 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 8/44 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 19/08 (2006.01)

【F I】

C 0 9 C 3/06 Z N M

C 0 9 C 1/36

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 7/12

C 0 1 G 23/047

A 6 1 K 8/29

A 6 1 Q 17/04

A 6 1 K 8/35

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 8/44

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 19/08

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 9 日 (2007.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 1】

酸化金属の懸濁液を pH = 7 から pH = 11 の値に、次いで pH を pH = 5 から pH = 8 に、好ましくは pH = 6 から pH = 7 の値に下げる事前の pH 調整後に、pH を調整することなくステップ b) を実施することを特徴とする請求項 6 ~ 9 のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

高温、好ましくは 5 0 から 1 0 0 の範囲の温度でステップ b) を実施することを特徴とする請求項 6 ~ 1 1 のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 1】

乳化剤を含まないエマルジョン、好ましくはビッカリングエマルジョンであることを特徴とする請求項 1 3 ~ 2 0 のいずれか一項に記載の遮光性を有する組成物。